

研究に関するお知らせ

1. 研究課題名

「過去の診療データを利用したオーダ時処方量警告システムの開発と評価に関する研究」

研究者氏名：

- | | | | |
|----------|---------------|-----------|-----------|
| 1) 美代 賢吾 | 東京大学大学院医学系研究科 | 医療情報経済学分野 | 講師（研究代表者） |
| 2) 河添 悦昌 | 東京大学医学部附属病院 | 企画情報運営部 | 助教 |
| 3) 大江 和彦 | 東京大学大学院医学系研究科 | 医療情報経済学分野 | 教授 |

2. 研究の概要

2.1 目的

本研究は、病名・年齢等の患者さんの個別の状況に応じた処方量の警告閾値を統計的に算出する手法を開発し、その結果を利用してより安全な処方チェック機構を有する処方オーダーリングシステムを開発・評価することを目的とします。

2.2 研究方法および対象者

2007年から2011年までの期間に東大病院で発行された処方箋の内容、病名、年齢、身長および体重の情報を元データとして、連結不可能匿名化处理により個人情報情報を削除した上で、統計的に解析をおこない、処方量の安全範囲の推定値を決定します。この結果を処方オーダーリングシステムの処方量チェック機構に反映させ、これまでの処方量チェック機構との性能比較を行います。研究対象者は、2007年1月1日から2011年12月31日までの期間に東大病院を受診され、処方箋が発行された方になりますが、既存の院内記録よりデータを取得して分析することになりますので、新たに患者さんに調査を行うことはありません。

3. 研究が行われる機関または実施場所

- 1) 東京大学医学部附属病院 企画情報運営部（研究全体統括、データの連結不可能匿名化处理、匿名データの統計解析処理およびシステム開発、データ管理）
- 2) 株式会社エーアイエス（研究協力企業）（匿名データの統計解析処理およびシステム開発）

4. 研究における倫理的配慮について

本研究で解析に利用する診療データは連結不可能匿名化されているため個人が特定されることはなく、また研究終了後に破棄されます。本研究は、研究協力企業である株式会社エーアイエスとの合同で行われ、研究成果は、研究報告書、学術論文、学会発表を通じ公表することを予定しています。この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。また、そのような場合においても、将来にわたって当院における診療において不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。なお、本研究は、東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会の審査・承認を得ております。開示請求等の手続きは「東京大学個人情報開示等に関する規則」（東大規則第328号）に従って行います。

5. 本研究に関する連絡先：

〒112-0002 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 河添 悦昌

電話：03-5800-8685（内線：35243）